

## 株主メモ

事業年度 / 4月1日から翌年3月31日まで  
 定時株主総会開催時期 / 毎年6月  
 基準日 / 毎年3月31日  
 (その他必要があるときは、あらかじめ公告して定める日)  
 期末配当金受領株主確定日 / 毎年3月31日  
 (なお、中間配当を行うときの中間配当金受領株主確定日は9月30日)



株主名簿管理人 / 東京都港区芝三丁目33番1号  
 中央三井信託銀行株式会社  
 同事務取扱場所 / 名古屋市中区栄三丁目15番33号 〒460-8685  
 中央三井信託銀行株式会社 名古屋支店証券代行部  
 ☎0120-78-2031

同取次所 / 中央三井信託銀行株式会社 本店及び全国各支店  
 日本証券代行株式会社 本店及び全国各支店

公告方法 / 電子公告により行います。  
 ※ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

単元株式数 / 100株  
 株式店頭登録 / 1997年8月1日 証券コード4558  
 株主優待 / 毎年3月31日現在の株主の皆様へ、ご所有株式数に応じ、  
 自社取扱商品を5月下旬に発送いたします。

ご所有株式数	自社取扱商品
500株以上、1,000株未満	3,000円相当
1,000株以上、5,000株未満	5,000円相当
5,000株以上	10,000円相当

株式の名義書換、配当金のお支払い並びに諸届出等のお問い合わせは、上記株主名簿管理人の事務取扱場所並びに取次所でお取り扱いいたします。なお、「株式会社 証券保管振替機構」に預託されました株券についての諸届出及び手続等に関するお問い合わせは、お取引先の証券会社へお願いいたします。

中京医薬品ホームページアドレス  
[www.chukyoiyakuhin.co.jp](http://www.chukyoiyakuhin.co.jp)

中京医薬品・楽天ショップ「イキイキ良品館」  
[www.rakuten.co.jp/ikiiki-ryouhin/](http://www.rakuten.co.jp/ikiiki-ryouhin/)



ジャワ島中部地震の被害が大きかったインドネシアで子供たちに水彩絵の具を使った色づくりを伝授



ジャワ島中部地震の被災地を訪れ地域医療の現場を視察



ベトナムではマングローブの植樹活動を継続的に展開

中京医薬品国際貢献活動「ぎずなASSIST」

第 29 期 中 間 報 告 書

平成18年4月 1日  
 ▼  
 平成18年9月30日



本社社屋

## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また平素より格別のご支援並びにご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。ここに中京医薬品グループの第29期中間期（平成18年4月1日から平成18年9月30日まで）のご報告をするにあたり、株主の皆様へ一言ご挨拶申し上げます。

当中間期における我が国の経済は、企業収益の改善に伴う設備投資の増加や雇用情勢の改善など好材料が見受けられる反面、米国経済の減速感、原油高等の不安要因もあり、さまざまなデータが表すほど好景気を実感できるものとは言い難い状況にあります。また、“団塊の世代”の退職の始まりとともに社会構造に変化が生まれ、高齢者の医療負担が増加するなど、全般的には回復基調にありながらも、先行きの不透明感に対する様子見の感も否めません。

こうした状況の中、当社グループの中核事業であります配置販売事業は、これからの時代に求められる「ふれあい業」の確立を目指し社員一人ひとりのレベルからお客様の健康づく

りのパートナーとしての役割を見つめ直しております。そのために社員教育に一層の力をそそぐべく組織改編を行うなど、積極的な取り組みを始めました。

お客様一人ひとりとふれあいながら、本当に求められている商品やサービスを探り出し、ご提案していく。この「ふれあい業」の初心に帰ることにより、当社グループは社会に貢献できるものと確信いたしております。

株主の皆様におかれましても、当社グループの可能性にご期待いただき、さらに深いご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 当中間期の概況

当中間期につきましては、主力事業であります配置販売事業において片寄った販売層を是正し、また新規顧客市場開拓のために積極的な出店を進め、初めての出店となる広島県、熊本県など西日本を中心に、上半期において7営業所の新設をいたしました。しかしながら、幅広い顧客層への需要の喚起には時間を要し、また積極的な出店により人件費を中心に販売管理費が増加いたしました。その結果、売上高につきましては、



株式会社 中京医薬品  
代表取締役社長 山田正行

連結で42億49百万円となりました。また経常利益につきましては、売上高落ち込みの影響と販売管理費の増加により22百万円の損失、中間純利益は25百万円の損失となりました。

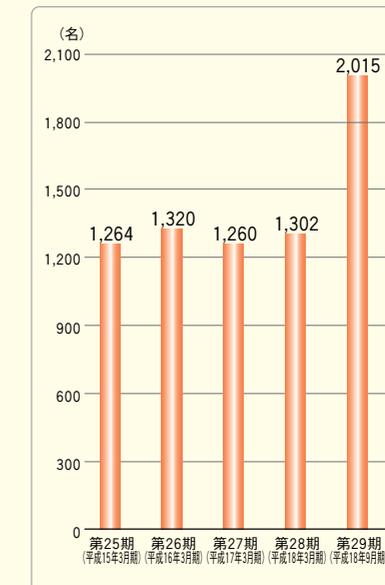
しかしながら株式面に目を移しますと、流動化を高める必要から4月に単元株式数の500株から100株への引き下げと1:1.1の株式分割を実施いたしました。その結果、4月以降売買出来高は大幅に向上し、当社の長年の課題でありました株式値付率も100%で推移することとなりました。また、株主数に至っては平成18年3月期末の1,302名から平成18年9月期末

では2,015名と大幅な増加となりました。今後も株主の皆様からご支持いただける施策を慎重に検討し実施してまいります。

### 通期の見通し

通期に関しましては、幅広い顧客層に対応できる営業体制の確立を急ぎ、後半には当初の計画に近づける最善の努力をいたしますが、上半期の影響が残り、連結で売上高は86億円、経常利益は2億11百万円、当期純利益は93百万円となる見込みであります。

### 株主数の推移



### 株式値付率の推移

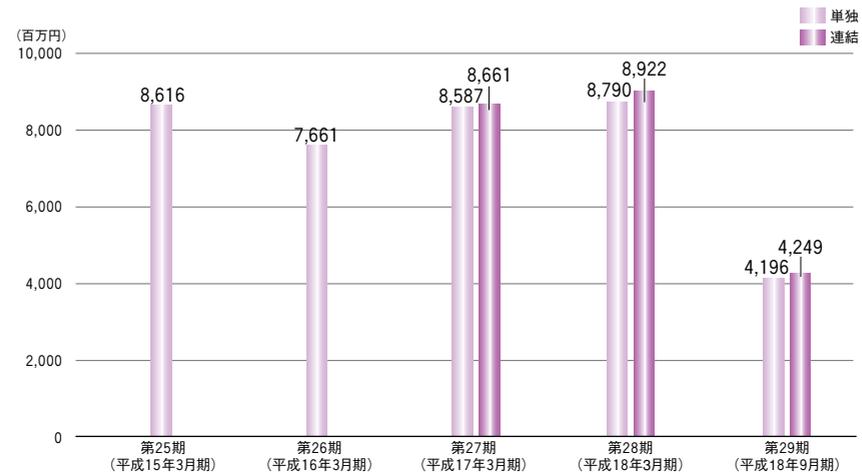


## CONTENTS

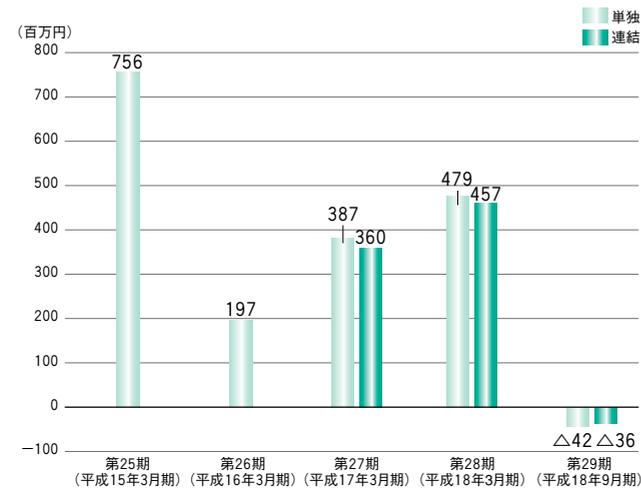
- 株主の皆様へ 1
- 決算ハイライト 3
- トピックス 5
- 株主還元の推移 7
- 中間連結財務諸表 9
- 中間個別財務諸表 11
- 株式の状況 13
- 会社概要 14

# 決算ハイライト

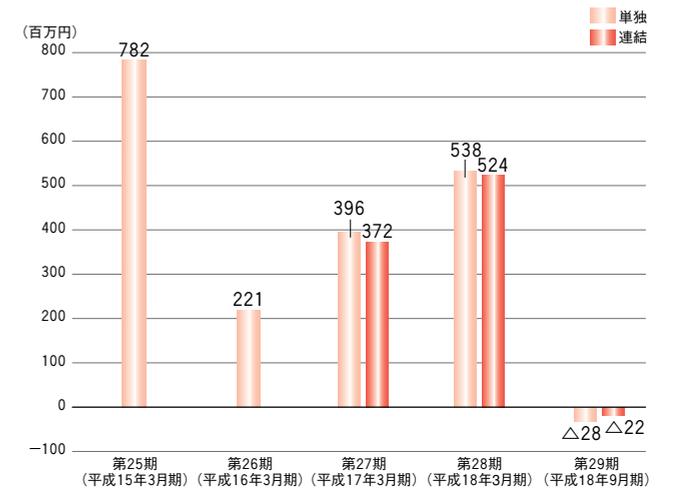
## ●売上高



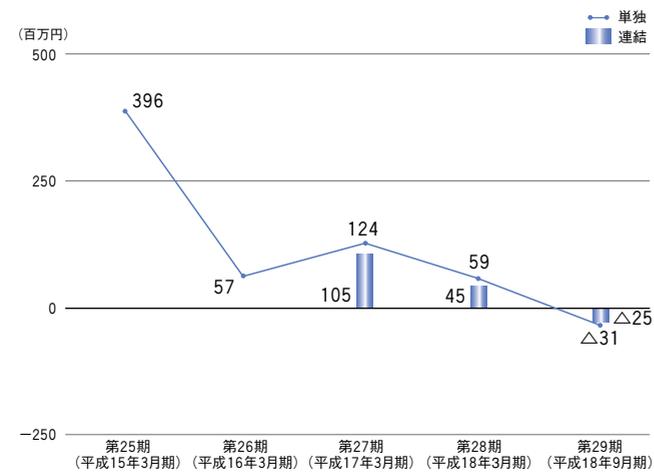
## ●営業利益



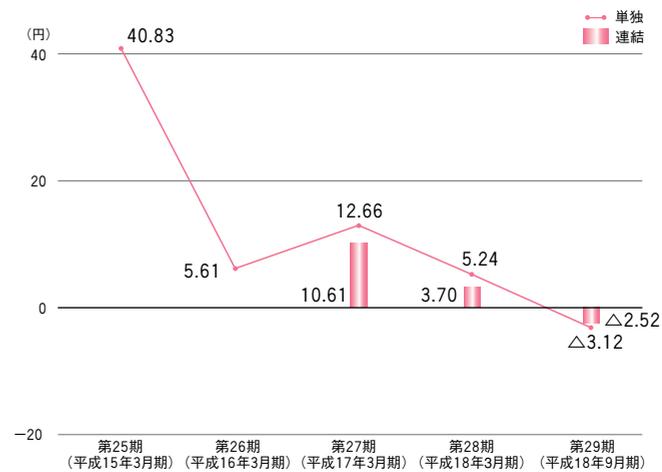
## ●経常利益



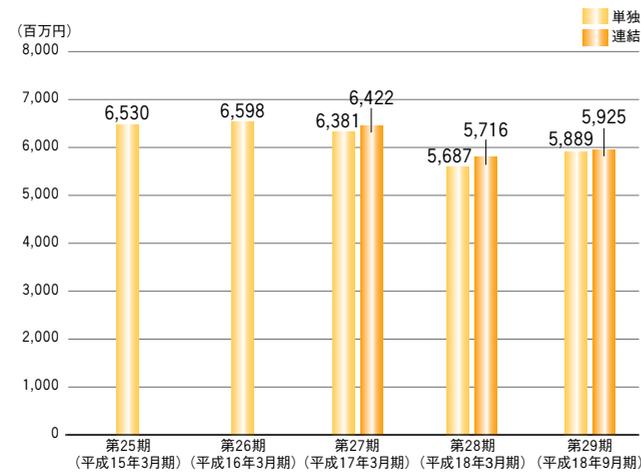
## ●当期純利益



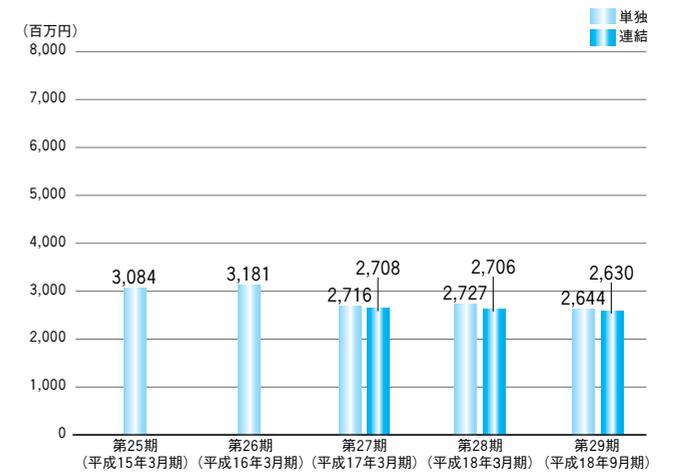
## ●1株当たり当期純利益



## ●総資産額



## ●純資産額



# トピックス

## 1 アクアマジック3番目の直営拠点「名西プラント」を開設

平成18年6月1日、新事業部アクアマジック課の新しいミネラルウォーター製造拠点「名西プラント」が開設されました。直営では名古屋、半田に次ぐ3箇所目となるこのプラントは、世界トップクラスのプラントメーカー「UAT」社製。クリーンルームが内蔵されたボトリングシステムは、人の手に触れることなく、オートメーションでボトル洗浄から充填、キャッピングまでを完了し、自動搬送システムによって配達車両へ。ボトリングから搬出までを自動化した最新プラントによって、作業が大幅に軽減され、できたての“アクアマジック”をより早くお客様にお届けできるようになりました。



## 2 第28期定時株主総会開催

平成18年6月27日、第28期の定時株主総会をクラシティ半田3階（半田市民交流センター）ホールにて開催しました。今回は例年会場として利用している雁宿ホールから場所を移しての開催となりましたが、新たな試みとしてプロジェクターを活用した営業報告などを行いました。当日は42名の株主の方々にご出席いただき、2名の方からのべ9項目のご意見やご質問を頂戴しました。今後も多くの株主の方にご出席いただけるような開かれた株主総会を目指していきたくと考えています。



## 3 名古屋市の栄で当社商品をPR

名古屋市のほぼ中心部、テレビ塔南西にある大和証券名古屋支店のショーウィンドをお借りして、8月1日から9月30日までの2ヶ月間、当社のPRを行いました。配置薬をはじめとする各種商品と当社の国際貢献活動「きずなASSIST」等を紹介したパネル3枚を背景に、前部にはミネラルウォーターのディスペンサー、取扱商品の一部を現物展示いたしました。行き交う人の中には、しばし足を止めて見入る人も数多くいらっしゃいました。このような機会を利用し、今後も当社商品を積極的にPRしていきたいと思えます。



## 4 IRセミナーにおいて会社説明会を実施

平成18年9月11日、ナディアパーク内のデザインホール（名古屋市中区栄3-18-1）において、証券教育広報センター主催による個人投資家向け会社説明会を行いました。当社が証券教育広報センターのIRセミナーに参加するのは、平成13年7月以来約5年ぶり。13時30分から14時30分までの1時間、プロジェクターを使用しながら当社社長が「わが社の現況と将来について」と題して講演を行いました。当日は約500名程の席がほぼ満席となり、当社社長の説明に熱心に聞き入っていただきました。今後も当社への理解を深めていただくため、積極的なIR活動を展開していきたいと思えます。



# 株主還元の推移

## 株主還元の基本方針

株主の皆様への期待にお応えするため、積極的な事業活動により企業価値の向上を図る一方で、今後の収益、財務体質、事業投資への対応を勘案しつつ、成果配分重視の観点から株主還元施策に取り組んでまいります。配当に関しましては、安定的かつ継続的な配当の維持・向上を基本として、連結業績、中長期的な成長性、株主資本配当率（ODE）等を加味し総合的に判断して行う考えです。またそれに加えて株式分割に関しましては、1株当たり利益の増加等を鑑みながら機動的に実施し、還元水準の一層の向上に努めてまいります。

## ● 株式分割

平成11年5月	2割分割を実施
平成12年5月	5割分割を実施
平成13年5月	2割分割を実施
平成14年5月	1割分割を実施
平成15年5月	1割分割を実施
平成18年4月	1割分割を実施

## ● 配当金の推移（1株当たり）

平成10年3月期 (9月中間期含む)	10円 <sup>※1</sup>
平成11年3月期 (9月中間期含む)	5円
平成12年3月期 (9月中間期含む)	10円 <sup>※2</sup>
平成13年3月期 (9月中間期含む)	5円
平成14年3月期 (9月中間期含む)	7.5円 <sup>※3</sup>
平成15年3月期 (9月中間期含む)	5円
平成16年3月期 (9月中間期含む)	5円
平成17年3月期 (9月中間期含む)	5円
平成18年3月期 (9月中間期含む)	5円
平成18年9月期	2.5円

※1 株式公開記念配当金5円を含む  
 ※2 創業50周年記念配当金5円を含む  
 ※3 株式会社頭公開5周年記念配当金2.5円を含む

## ● 株主優待

### 18年3月の例（3月末現在の株主）

500株以上	「花・香りの物語」 「日本の名泉めぐり」 (3,000円相当額)
1,000株以上	薬屋さんが処方した 美味しいカレー (5,000円相当額)
5,000株以上	薬屋さんが処方した 美味しいカレー (10,000円相当額)

### 17年3月の例（3月末現在の株主）

500株以上	紀州南高梅 (3,000円相当額)
1,000株以上	薬屋さんが処方した 美味しいカレー (5,000円相当額)
5,000株以上	薬屋さんが処方した 美味しいカレー (10,000円相当額)

### 「花・香りの物語」「日本の名泉めぐり」



#### 【花・香りの物語】

酵素と3つの保湿成分（紅茶エキス・オリーブ油・メタケイ酸Na）を配合した、お肌にやさしい入浴剤。その日の気分で選べる7種の花【サルビア・ユリ・ボタン・マリゴールド・カモミール・ローズマリー・ラベンダー】の香りをセットしました。ハーブの香りに包まれる心地いいバスタイムをお楽しみください。

#### 【日本の名泉めぐり】

日本各地から選んだ名湯【登別・道後・熱海・有馬・十和田・草津・湯布院】の温泉成分に近づけ、さらに温泉効果を高める酵素・カテキン（緑茶エキス）と3つの保湿成分（オリーブ油・トウキエキス・各生薬エキス）を配合。温泉気分に浸りながら、一週間、毎日違うお湯をお楽しみいただけます。

### 薬屋さんが処方した美味しいカレー



#### 【マサラビーフ】

通常15種類前後でブレンドされるカレースパイスを30種類ブレンドし独自のガラムマサラを作りあげました。薬屋さんの目利きで選んだ、漢方薬としても使われるスパイスの挽き立ての味をお楽しみください。お子様からお年寄りの方まで、きつとご満足いただけます。

#### 【グレイビービーフ】

一流シェフのレシピをもとに、漢方薬としても使われる各種のスパイスをふんだんにブレンドし、お肉の味を最大限に引き出しました。鉄板でローストした肉汁の旨味がぎゅっとつまった身体に優しく、おいしいカレーができました。是非、本格的な味を、ご家庭でご賞味ください。

### 紀州南高梅



澄んだ空気と清らかな水が流れる紀州田辺・南部。この地で親子代々受け継がれてきた腕利きの農家で育てられた紀州南高梅は、皮が薄く肉厚で果肉がとろけるほどに柔らかい上質の品種。その中でも粒よりの南高梅だけを厳選し、良質のはちみつを加えた中京医薬品の『紀州南高梅』は、お茶請けにも最適な食べやすさはもちろん、はちみつ成分が梅干しと相まって、お子様からお年寄りの方まで、ご家族の皆様の健康維持に大変役立ちます。

# 中間連結財務諸表(要旨)

## 会社法における会計について

### ◎「連結貸借対照表」及び「単体貸借対照表」

平成18年5月1日施行の会社法により、「資本の部」が廃止され、「純資産の部」が新設されました。

これは貸借対照表上、資産性を持つものを「資産の部」、負債性を持つものを「負債の部」に記載し、それらに該当しないものを資産と負債の差額として「純資産の部」に記載するものです。

これにより、会社の支払能力などの財政状態をより適切に表示することが可能となります。

### ◎単体損益計算書

期間中における剰余金の変動は、平成18年5月1日施行の会社法により新設された「株主資本等変動計算書」で説明されるため、損益計算書末尾の「未処分利益」の計算区分は廃止されました。

### ◎「連結株主資本等変動計算書」

平成18年5月1日施行の会社法により、「連結株主資本等変動計算書」が新設されました。

これは貸借対照表の純資産の部の中で、主として株主の皆様へ帰属する株主資本について、その1会計期間における変動事由と変動額を、連結ベースでご報告するために作成する計算書類です。

### ◎「(単体)株主資本等変動計算書」

平成18年5月1日施行の会社法により、「利益処分計算書」が廃止され、「(単体)株主資本等変動計算書」が新設されました。

これは貸借対照表の純資産の部の中で、主として株主の皆様へ帰属する株主資本について、その1会計期間における変動事由と変動額を、単体ベースでご報告するために作成する計算書類です。

## ●中間連結貸借対照表

科目	当中間期 (平成18年9月30日現在)	前中間期 (平成17年9月30日現在)	前連結会計年度 (平成18年3月31日現在)
<b>資産の部</b>			
流動資産	3,098,753	3,089,573	2,871,723
固定資産	2,826,462	2,904,467	2,844,033
有形固定資産	1,911,065	1,937,495	1,916,800
無形固定資産	29,612	42,714	27,577
投資その他の資産	885,784	924,256	899,655
繰延資産	266	800	533
資産合計	5,925,483	5,994,840	5,716,290
<b>負債の部</b>			
流動負債	2,805,266	2,749,127	2,440,647
固定負債	489,965	658,918	569,306
負債合計	3,295,232	3,408,045	3,009,953
<b>資本の部</b>			
資本金	—	530,950	530,950
資本剰余金	—	274,120	274,139
利益剰余金	—	2,123,292	2,242,380
その他有価証券評価差額金	—	193,972	194,916
為替換算調整勘定	—	5,865	9,148
自己株式	—	△ 541,405	△ 545,199
資本合計	—	2,586,794	2,706,336
負債及び資本合計	—	5,994,840	5,716,290
<b>純資産の部</b>			
株主資本	2,441,068	—	—
資本金	530,950	—	—
資本剰余金	274,143	—	—
利益剰余金	2,182,762	—	—
自己株式	△ 546,786	—	—
評価・換算差額等	189,181	—	—
その他有価証券評価差額金	179,216	—	—
為替換算調整勘定	9,965	—	—
純資産合計	2,630,250	—	—
負債及び純資産合計	5,925,483	—	—

(単位:千円)

## ●中間連結損益計算書

科目	当中間期 (平成18年4月1日～平成18年9月30日)	前中間期 (平成17年4月1日～平成17年9月30日)	前連結会計年度 (平成17年4月1日～平成18年3月31日)
売上高	4,249,046	4,719,099	8,922,143
売上原価	1,670,146	1,919,180	3,470,780
売上総利益	2,578,899	2,799,918	5,451,362
販売費及び一般管理費	2,615,233	2,587,858	4,994,202
営業利益	△ 36,333	212,060	457,160
営業外収益	22,988	40,442	94,769
営業外費用	9,246	14,919	27,773
経常利益	△ 22,591	237,582	524,156
特別利益	75	934	13,263
特別損失	6,501	269,103	288,453
税金等調整前中間(当期)純利益	△ 29,018	△ 30,586	248,967
法人税、住民税及び事業税	5,157	150,549	245,649
法人税等調整額	△ 8,733	△ 84,285	△ 41,911
中間(当期)純利益	△ 25,442	△ 96,849	45,228

(単位:千円)

## ●中間連結キャッシュ・フロー計算書

科目	当中間期 (平成18年4月1日～平成18年9月30日)	前中間期 (平成17年4月1日～平成17年9月30日)	前連結会計年度 (平成17年4月1日～平成18年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 233,222	224,691	178,458
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 26,281	△ 22,154	87,466
財務活動によるキャッシュ・フロー	118,512	△ 459,385	△ 525,789
現金及び現金同等物に係る換算差額	409	631	8,924
現金及び現金同等物の増減額	△ 140,581	△ 256,216	△ 250,939
現金及び現金同等物の期首残高	644,556	895,496	895,496
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	503,974	639,280	644,556

(単位:千円)

## ●中間連結株主資本等変動計算書 当中間期(平成18年4月1日～平成18年9月30日)

科目	株主資本					評価・換算差額等			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計	
平成18年3月31日残高	530,950	274,139	2,242,380	△545,199	2,502,270	194,916	9,148	204,065	2,706,336
中間連結会計期間中の変動額	—	—	—	—	—	—	—	—	—
剰余金の配当	—	—	△22,969	—	△22,969	—	—	—	△22,969
利益処分による役員賞与	—	—	△11,207	—	△11,207	—	—	—	△11,207
中間純損失	—	—	△25,442	—	△25,442	—	—	—	△25,442
自己株式の取得	—	—	—	△1,654	△1,654	—	—	—	△1,654
自己株式の処分	—	3	—	67	71	—	—	—	71
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	△15,700	816	△14,884	△14,884
中間会計連結期間中の変動額合計	—	3	△59,618	△1,587	△61,202	△15,700	816	△14,884	△76,086
平成18年9月30日残高	530,950	274,143	2,182,762	△546,786	2,441,068	179,216	9,965	189,181	2,630,250

(単位:千円)

# 中間個別財務諸表(要旨)

## ● 中間貸借対照表

科目	当中間期 (平成18年9月30日現在)	前中間期 (平成17年9月30日現在)	前事業年度 (平成18年3月31日現在)
<b>資産の部</b>			
流動資産	3,031,986	3,031,174	2,812,281
固定資産	2,857,407	2,934,738	2,874,803
有形固定資産	1,909,115	1,933,789	1,914,237
無形固定資産	29,466	42,469	27,380
投資その他の資産	918,824	958,478	933,185
繰延資産	266	800	533
資産合計	5,889,659	5,966,712	5,687,617
<b>負債の部</b>			
流動負債	2,762,125	2,713,870	2,401,545
固定負債	482,659	645,383	558,228
負債合計	3,244,784	3,359,254	2,959,774
<b>資本の部</b>			
資本金	—	530,950	530,950
資本剰余金	—	274,120	274,139
利益剰余金	—	2,149,820	2,273,036
その他有価証券評価差額金	—	193,972	194,916
自己株式	—	△ 541,405	△ 545,199
資本合計	—	2,607,458	2,727,843
負債及び資本合計	—	5,966,712	5,687,617
<b>純資産の部</b>			
株主資本	2,465,659	—	—
資本金	530,950	—	—
資本剰余金	274,143	—	—
利益剰余金	2,207,352	—	—
自己株式	△ 546,786	—	—
評価・換算差額等	179,216	—	—
その他有価証券評価差額金	179,216	—	—
純資産合計	2,644,875	—	—
負債及び純資産合計	5,889,659	—	—

(単位:千円)

## ● 中間損益計算書

科目	当中間期 (平成18年4月1日～平成18年9月30日)	前中間期 (平成17年4月1日～平成17年9月30日)	前事業年度 (平成17年4月1日～平成18年3月31日)
売上高	4,196,765	4,674,150	8,790,384
売上原価	1,640,751	1,884,844	3,365,110
売上総利益	2,556,014	2,789,305	5,425,274
販売費及び一般管理費	2,598,564	2,566,206	4,945,389
営業利益	△ 42,550	223,099	479,884
営業外収益	22,848	39,224	85,858
営業外費用	9,024	14,753	27,462
経常利益	△ 28,727	247,570	538,280
特別利益	75	904	13,263
特別損失	6,501	269,103	288,453
税引前中間(当期)純利益	△ 35,153	△ 20,628	263,091
法人税、住民税及び事業税	5,087	150,479	245,509
法人税等調整額	△ 8,733	△ 84,285	△ 41,801
中間(当期)純利益	△ 31,507	△ 86,822	59,383
前期繰越利益	—	744,447	744,447
中間配当額	—	—	22,989
中間(当期)末処分利益	—	657,625	780,841

(単位:千円)

## NEWS 広島県・熊本県に初進出

中期経営計画に基づく積極的な出店政策により当中間期には西日本を中心に7営業所を新設いたしました。本年4月には空白地帯だった中国地方にも初進出。中国地方初の拠点は、広島県の東広島市と三次市に、強化を図る九州エリアでは熊本県の人吉市に初進出いたしました。

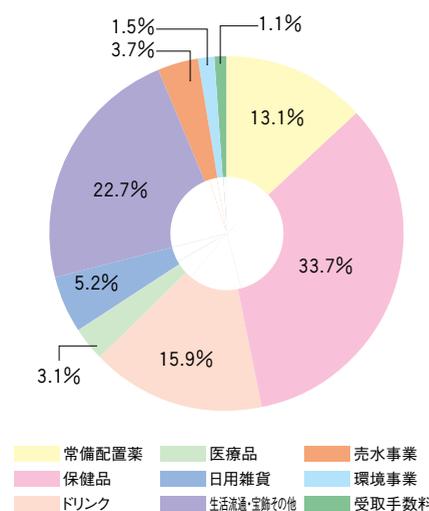


## ● 中間株主資本等変動計算書 当中間期(平成18年4月1日～平成18年9月30日)

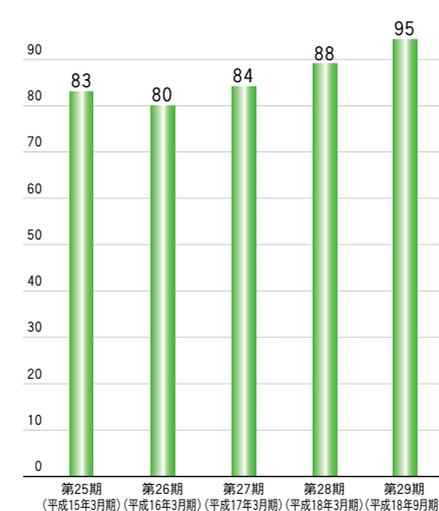
科目	株主資本					評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
平成18年3月31日残高	530,950	274,139	2,273,036	△545,199	2,532,926	194,916	194,916	2,727,843
中間会計期間中の変動額	—	—	—	—	—	—	—	—
剰余金の配当	—	—	△22,969	—	△22,969	—	—	△22,969
利益処分による役員賞与	—	—	△11,207	—	△11,207	—	—	△11,207
中間純損失	—	—	△31,507	—	△31,507	—	—	△31,507
自己株式の取得	—	—	—	△1,654	△1,654	—	—	△1,654
自己株式の処分	—	3	—	67	71	—	—	71
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	△15,700	△15,700	△15,700
中間会計期間中の変動額合計	—	3	△65,684	△1,587	△67,267	△15,700	△15,700	△82,968
平成18年9月30日残高	530,950	274,143	2,207,352	△546,786	2,465,659	179,216	179,216	2,644,875

(単位:千円)

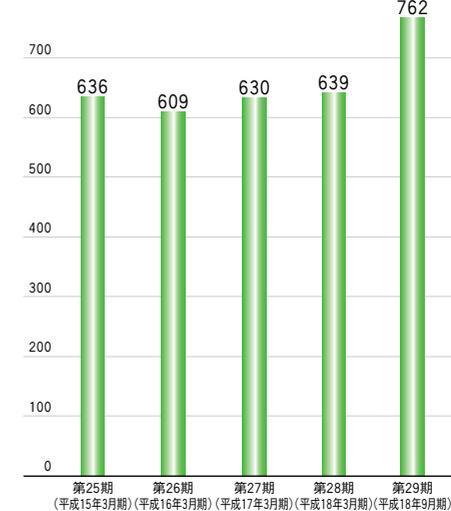
## ● 商品別売上高構成比



## ● 営業拠点数



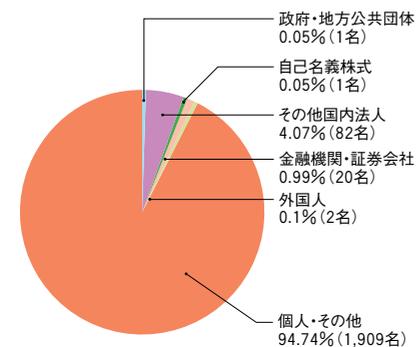
## ● 従業員数



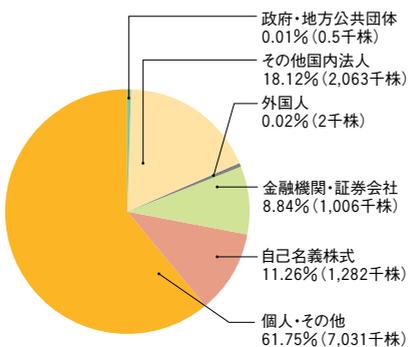
# 株式の状況 (平成18年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 / 25,000,000株
- 発行済株式の総数 / 11,385,734株
- 株主数 / 2,015名

## ● 所有者数別状況



## ● 所有者株式数別状況

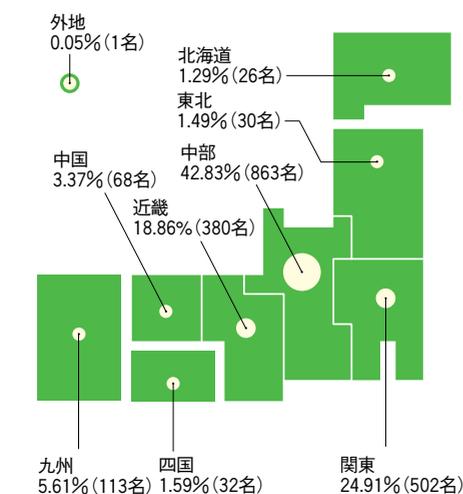


## ● 大株主

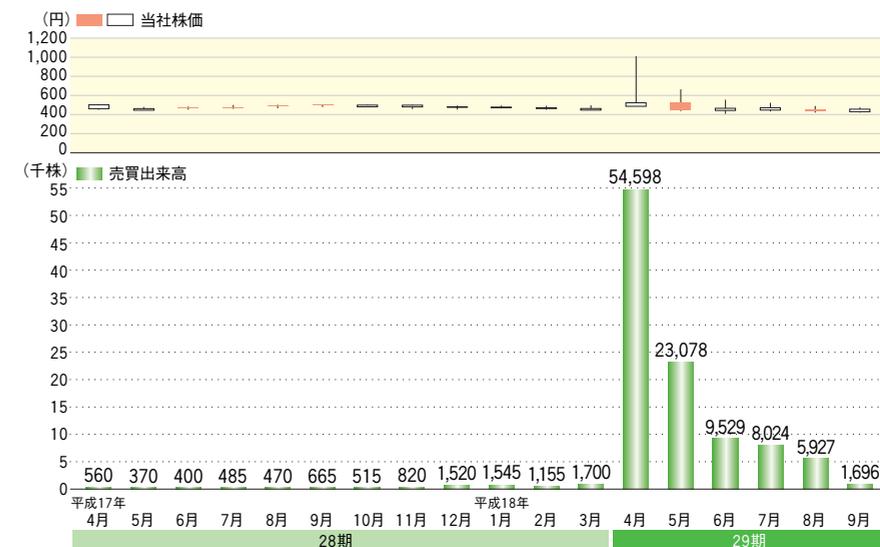
株主名	持株数(株)	持株比率%
山田正行	1,363,886	12.0
山田幸男	1,115,986	9.8
有限会社ヤマショー	1,051,285	9.2
山田雄三	778,675	6.8
株式会社三菱東京UFJ銀行	224,246	2.0
中京医薬品取引先持株会	206,720	1.8
大商株式会社	168,100	1.5
山田重子	163,163	1.4
中京医薬品従業員持株会	159,068	1.4
山田正人	140,197	1.2

(注) 当社は自己株式1,282,143株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

## ● 地域別分布状況



## ● 株価の推移



# 会社の概要・役員・事業所

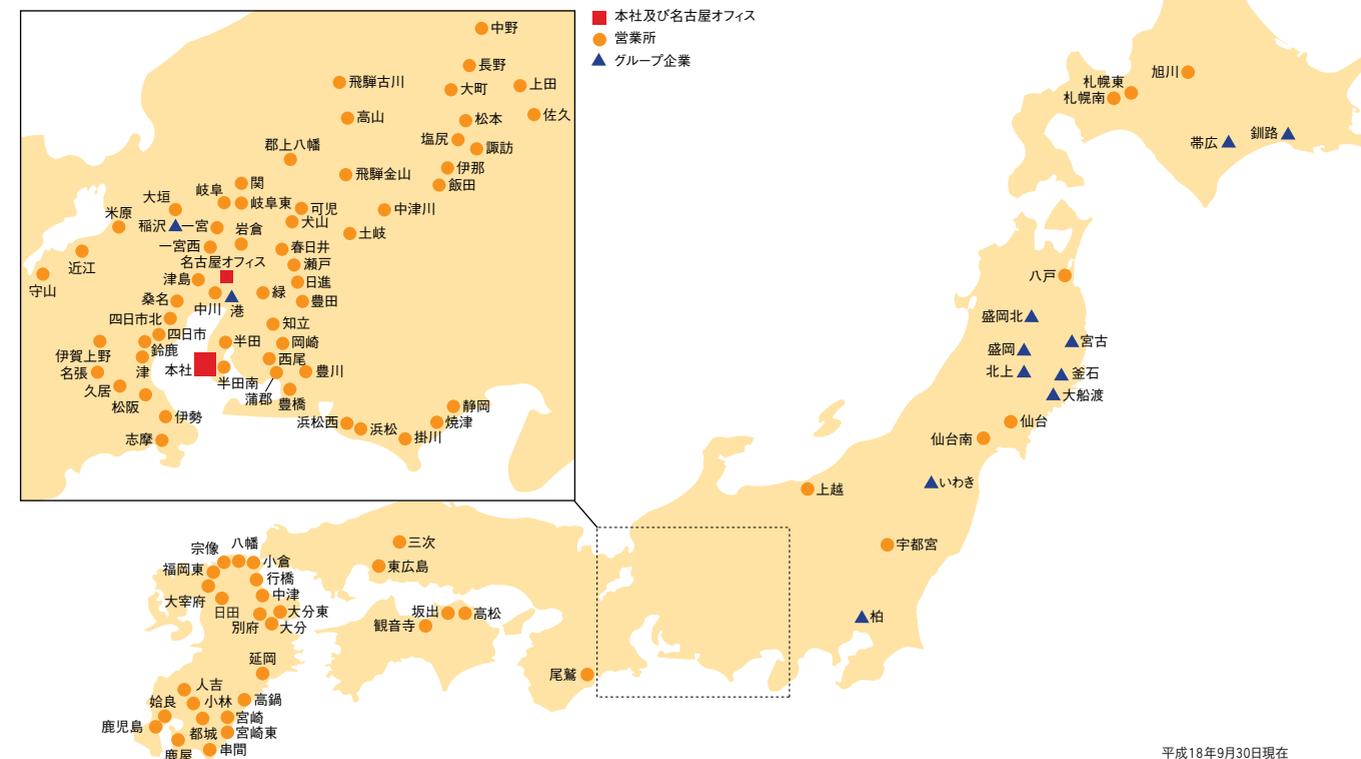
## ● 会社の概要 (平成18年9月30日現在)

商号	株式会社中京医薬品
本社所在地	愛知県半田市亀崎北浦町2-15-1
創業	昭和24年
設立	昭和53年
資本金	5億3,095万円
代表者	代表取締役社長 山田正行
従業員数	876名(嘱託・パート含む)
事業内容	医薬品・医薬部外品・健康食品・清涼飲料水・医療機器・化粧品・日用品・衣料品・生保・損保・通販・宝飾品などの販売
連結子会社	株式会社ユナイテッドデザイン 株式会社中京医薬品コア

## ● 役員 (平成18年9月30日現在)

代表取締役社長	山田正行
専務取締役	山田雄三
常務取締役	辻村誠
取締役	山田幸男
取締役	山本謙二
取締役	松本好博
取締役	金澤光二
取締役	佐土原しづ子
取締役	小澤千加四
常勤監査役	秋本實
監査役	長谷川了治
監査役	沼田尚
監査役	柘植信吾

## ● 事業所



平成18年9月30日現在